

日本社会関連会計学会 第 35 回全国大会プログラム

日時 2022 年 10 月 29 日(土)・30 日(日)

ビデオ会議システム Zoom による開催

九州大学・長崎県立大学

第 1 日目 10 月 29 日(土)

開会あいさつ・会員総会	12:45～13:45
統一論題	13:50～15:35
自由論題報告 I	15:45～16:45
特別講演 I	16:55～17:40

第 2 日目 10 月 30 日(日)

自由論題報告 II	09:10～12:30
特別講演 II	13:30～14:15
統一論題討論	14:25～15:25
閉会あいさつ	15:25～15:30

ごあいさつ

会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日本社会関連会計学会第 35 回全国大会は、リモート開催とさせていただきます。コロナ感染症が収まらないなかではございますが、幸い、全国各地から応募をいただきました。このように充実したプログラムをご案内できるのも、会員諸氏のお力添えのお陰です。厚くお礼申し上げます。

さて、第 35 回全国大会統一論題は、座長に村井秀樹先生をお迎えし「脱炭素化への経営・会計問題」を討論していただきます。現下、エネルギー施策は身近な関心事です。個人や家計、企業、自治体はもちろんのこと、グローバルな局面に通底する問題が交錯しています。3名の登壇者より、脱炭素化に向けた経済主体の取組みや課題をそれぞれの問題意識のもとで掘り下げ、社会関連会計の知見から先鋭し、議論していただきます。

また、対面であったならば、現地で学会開催校を見ていただけるのですが、叶いません。そのような機会に代わりまして、特別講演Ⅰ（1日目）にて、上瀧恵里子氏より九州大学におけるダイバシティの取組みを紹介していただきます。ジェンダー・ギャップがいまだ社会的な課題であると認識される今日、一研究・教育機関がどのように取組み、解決をしてきたか、その歩みを聞いていただけたら幸いです。

特別講演Ⅱ（2日目）では、経済産業省より堀達也様をお迎えします。ご講演を伺って、ぜひ、社会関連会計がアプローチできそうなトピックを見つけてください。

自由論題Ⅰ・Ⅱでは 8名の先生方にご報告いただきます。予想を超える多数の応募者からの投稿がございましたことに感謝申し上げます。研究対象に近い論文ごとにセッションを組みました。ここは司会の先生にすべてお任せしています。討論となるか、さらなるコメントが出てくるかは会場でご覧ください。

皆様とご一緒に、社会関連会計研究の一層の発展に向けて学び多き時間を得られますことを心より楽しみにしています。

2022年10月吉日

日本社会関連会計学会第 35 回全国大会準備委員会を代表して

小津 稚加子

大会プログラム

1 日目(10月29日(土))	
理事会	10:00～11:30 ※別途、事務局より配信します。
(12:30～12:45 接続確認)	
開会あいさつ	12:45～12:50 第35回全国大会準備委員会 日本社会関連会計学会会長 宮崎修行氏
会員総会	12:50～13:45 ※学会奨励賞受賞式がございます。
統一論題報告	13:50～15:35 (報告30分、座長による開題とコメント15分) 「脱炭素化への経営・会計問題」 座長：村井秀樹氏 (日本大学) 第1報告：宮地晃輔氏 (長崎県立大学) 「脱炭素化に向けた海事産業の動向とポセイドン原則の会計問題」 第2報告：山本清氏 (鎌倉女子大学) 「脱炭素化の政策と会計の役割」 第3報告：川島和浩氏 (東北工業大学) 「脱炭素化に向けたCCUS(二酸化炭素の回収・利用・貯留)技術の活用と会計問題」 コメント：村井秀樹氏 (日本大学)
自由論題報告 I	15:45～16:45 (報告20分、質疑10分) 気候変動セッション 司会 阪智香氏 (関西学院大学) 第1報告：山崎智子氏 (法政大学) 「電力業におけるサステナビリティ情報開示に関する考察 —TCFDの視点を中心に—」 第2報告：北田皓嗣氏・竹原正篤氏 (法政大学) 「TCFD開示におけるサーキュラーエコノミー情報の位置付け」
特別講演 I	16:55～17:40 講演者 上瀧恵里子氏 (九州大学) 演題 「ジェンダー・ダイナミクス —九州大学のこれまでとこれから—」 司会 小津稚加子氏 (九州大学)
2 日目(10月30日(日))	
(09:00～09:10 接続確認)	
自由論題報告 II	09:10～12:30 (報告20分、質疑10分)

<p>組織とフレームワークセッション 09:10～10:10</p> <p>司会 東田明氏 (名城大学)</p> <p>第1報告：岡田華奈氏 (大阪経済大学)</p> <p>「持続可能な社会の実現に向けた組織間マネジメント」</p> <p>第2報告：岡 照二氏 (関西大学)・呉 綺氏 (京都先端科学大学)</p> <p>「統合報告書発行企業における自然資本経営・会計に関する実態調査」</p> <p><休憩 10分></p> <p>サステナビリティセッション 10:20～11:20</p> <p>司会 依田俊伸氏 (東洋大学)</p> <p>第3報告：阿部健人氏 (立正大学)</p> <p>「コーポレートガバナンス改革におけるサステナビリティ概念の曖昧性」</p> <p>第4報告：平澤賢嗣氏 (パナソニック オートモーティブシステムズ(株)・情報経営イノベーション専門職大学)・天王寺谷達将氏 (岡山大学)</p> <p>「サステナビリティ配慮型研究開発情報開示のあり方 ―先端事例の考察を通じて―」</p> <p><休憩 10分></p> <p>産業と社会関連会計セッション 11:30～12:30</p> <p>司会 石津寿恵氏 (明治大学)</p> <p>第5報告：家申哲生氏 (山形大学)</p> <p>「農業法人における予算管理システム活用の企業業績への影響」</p> <p>第6報告：小村彰啓氏 (グリフィス大学(オーストラリア))</p> <p>「地政学リスクと金属・鉱業による設備投資：オーストラリアの例」</p>
<昼休憩 12:30～13:30>
(13:20～13:30 接続確認)
<p>特別講演Ⅱ 13:30～14:15</p> <p>講演者 堀達也氏 (経済産業省)</p> <p>演 題 「文化と経済の好循環に向けて」</p> <p>司 会 坂上 学氏 (法政大学)</p>
<p>統一論題討論 14:25～15:25</p> <p>「脱炭素化への経営・会計問題」</p> <p>司 会 村井秀樹氏 (日本大学)</p> <p>登壇者 宮地晃輔氏 (長崎県立大学)、山本清氏 (鎌倉女子大学)、川島和浩氏 (東北工業大学)</p>
<p>閉会あいさつ 15:25～15:30</p> <p>日本社会関連会計学会東日本部会副会長 大下勇二氏</p> <p>第35回全国大会準備委員会</p>

オンライン会議への参加方法

1. 本大会ではビデオ会議システム Zoom を使用します。参加申込者には主催者から招待されてオンライン会議に参加する形態となります。必要なデバイス等は、各自で準備をお願いします。
2. 大会情報の配信の仕方は次の通りです。
 - ・会員へは、学会事務局から一斉配信にて提供します。
 - ・非会員は、次の参加申し込みフォームよりお願いします。申込期限は 2022 年 10 月 21 日（金）17：00 です。

【非会員用参加申し込みフォーム】 <https://forms.gle/mgA1BASfo7aw5ZA86>

3. ミーティングへの招待（ID、パスコード）は、開催 1 週間前（10 月 22 日）に配信します。大会 1 日目と 2 日目のミーティング情報を参加者マニュアルにて提供します。ミーティング情報等は、厳重に管理し、第三者に譲渡しないようお願い致します。
4. 統一論題、自由論題の報告資料の情報は、開催 1 週間前に招待 URL とともに閲覧用情報を参加者にお送りします。

参加費

会員・非会員 無料

CPE 単位認定のご案内

本大会の研究報告等は、日本公認会計士協会の CPE 認定研修対象として承認されております。この研修に参加される方は、参加フォームの所定の欄に必ず研修登録番号をご記入ください。

開催日	題目	研修コード	単位
10月29日	統一論題報告	2301	2
10月29日	自由論題報告 I (気候変動セッション)	2301	1
10月30日	自由論題報告 II (組織とフレームワークセッション)	2302	1
10月30日	自由論題報告 II (サステナビリティセッション)	2301	1
10月30日	自由論題報告 II (産業と社会関連会計セッション)	6102	1
10月30日	統一論題討論	2301	1

日本社会関連会計学会第 35 回全国大会準備委員会

〒819-0395 福岡市西区元岡 744
九州大学
小津 稚加子

〒858-8580 長崎市佐世保市川下町 123
長崎県立大学
宮地 晃輔